

2018年1月号 第140号

## 市議会レポート

# 岩永ひさかのほうれんそう

文章: 岩永ひさか(多摩市議会議員/所属党派: 改革みらい)  
多摩市諏訪2-2 B410 プリリア多摩ニュータウン  
TEL/FAX 042-371-0763

ブログ更新中!!  
ご意見も随時  
募集しております!

☑ ホームページ <http://www.iwanaga-hisaka.net/>



他市の図書館を利用することも可能です。また、インターネットの普及、電子図書など将来も見据えたいと思います。

### ■そして、この後、訪れるのが市庁舎の建替え問題。

パルテノン多摩の大規模改修も工事内容を再度見直したものの70億円を超える費用(H.29年度一般会計の当初予算は554.8億円)が想定されます。議会では図書館機能を一部パルテノン多摩に盛り込む方向(合築)の検討もしましたが、現在は、パルテノン多摩の大規模改修と図書館本館再整備問題とは切り離し検討する方向です。暫定使用している図書館の再整備も必要ですが、やはり**将来に向けた選択と負担**の問題は見逃せません。

もう一つ、気になるのが市庁舎の建替え問題。現在の庁舎を使用する期限は平成41年3月までと決め、建替えに取り

組む方針が決まっています。災害時対応を考えると、市役所の重要性は無視できません。そうであるならば、選択肢の一つとし、「**図書館本館と市庁舎の合築**」もあり得るのかもしれませんが、2つの施設を**合築することの相乗効果**も期待できそうです。

### ■新しい建物を増やすことには慎重になりたい。

図書館の役割の重要性は無視できず、大事にしていきたいと思います。とは言え、新しい建物を増やすことには慎重になるべきです。**より効率的な運営を考えると同時に、医療福祉など、今以上に負担増が予測される未来にさらに追い打ちをかけぬよう善後策が求められます。**今の時代に求められる覚悟、決断をしっかりとできる市政にしていきたいですね。市議会でもさらに突っ込んだ議論が展開されるよう、議長として見守っていききたいと思います。

※ご意見お待ちしております!

ご相談など随時受け付けております

用件と希望する連絡先を  
留守番希望電話に入れてください!  
必ず折り返します。

TEL 042-371-0763

留守番電話専用

#### 【プロフィール】

北諏訪小学校卒業/桐朋女子中・高卒業  
中央大学法学部政治学科卒業/明治大学  
公共政策大学院ガバナンス研究科修了  
多摩市諏訪在住(32年)  
1977年神戸市生まれ うお座 A型



## 市議会議員の活動報告

# 岩永ひさかのほうれんそう

もっと教育に、もっと保育に、もっと介護に税金を使いたい!

2018年1月号 第140号

## 新年あけましておめでとうございます!

私が小学6年生の時、テレビで見た国会の様子が忘れられません。消費税導入に反対していた政治家が「牛歩」をしていた風景はとても奇異に映りました。何のために、こんなことしているのかわかりませんでした。とても意味のあるようには思えない光景に、私は「政治って何のためにあるんだろう」と思いました。「政治って嫌!」と子ども心に感じた印象を私は今でも持ち続けています。

11歳の私が「嫌」と感じた現場に飛び込んだ自分。「嫌」を克服できているでしょうか?嫌われる現場が少しでも理解されるように私は行動できているでしょうか?

昨年未で、所属をしていた「民進党」を離党しました。党籍は置き、国政や都政では政権交代をめざし、応援もしてきました。同じ方向を志、いろんな活動を分かち合ってきた仲間と「袂」を分かちような離党をするかどうか、とても悩みました。迷走する党に対し、もっと働きかけることができたかもしれない。いろんな思いがこみ上げます。でも、「何のために政党に所属しているのか」がわからなくなっていた自分を宙ぶらりんにするのをやめました。

自分の気持ちに素直に向き合い活動する一年をつくっていく。そのために、心機一転、政党には所属せず、地域にもっともっと向き合い活動していこうと思います。

本年もどうぞよろしくお願いいたします!

2018年1月吉日

岩永ひさか

今月の  
テーマ

都合のいいこと?悪いこと?...今までの方針は何だったのか?  
今、「新しい」図書館の必要性は?図書館政策の課題。

## 都合のいいこと？悪いこと？...今までの方針は何だったのか？ 今、「新しい」図書館の必要性は？図書館政策の課題。

将来を見据え、**今のまま、すべての公共施設を維持管理することが難しい。**

それは紛れもない事実です。だから、今、私たちは現実と向き合い、子どもたちの未来のために決断しなければなりません。

今、暫定的に使用している旧西落合中学校の「図書館本館」を新規に建設する方向が示されています。もともと10年を目安にし、廃校施設を使用してきたのは事実。図書館政策のかなめとなる「本館」を整備していくことの必要性を否定することはできません。でも、どうやって？が課題です。

### ■ 一貫性のない方針変更？

平成25年秋に示された提案では「地域図書館を廃止」し、それに伴い、「中央図書館機能を持つ本館の整備（本館再整備）」をする方針が打ち出されました。しかし、地域図書館の存続を求める運動により、現在は、一定の方針変更があり、「地域との協議」することを前提に「地域図書館の存続」が位置づけられています。

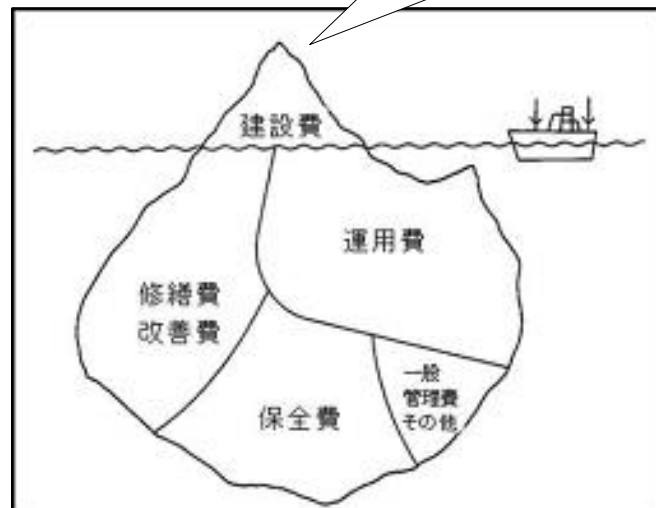
ところが、今、議会を巻き込み、多摩中央公園内に新しい図書館を建設する動きが進んでおり、改めて、現状を市民の皆さんと共有しなければならないと考えています。

なぜなら、「**本館の再整備**」とは、「**地域図書館の廃止が前提**」であるとするなら、「**地域図書館の廃止**」を思いとどまると同時に、「**本館の再整備**」についても一旦立ち止まるのが自然だと思うからです。

### ■ 建設費だけでなく、より良く運営管理、維持費を見直すための検討こそ重要！

昨年来、話題になっているのがパルテノン多摩の大規模改修に見ても明らかなのは、建物の維持管理、運営するための費用のことをきちんと考えていくべきという事実です。「**建設することは簡単、でも維持管理が難しい**」これは過去からの教訓ではないでしょうか？運営する費用の捻出も難しく、閉鎖に追い込まれる公共施設が全国には増えつつあります。

建設費は氷山の一角！  
‘建物の生涯’に必要な費用は水面下に...



### ■ 方針をあいまいにしたまま進めるのは危険すぎる！

将来に向けた多摩市財政の状況、図書館に関わる運営費用のことを踏まえ、議会では「図書館政策」の在り方を協議してきました。そこでは「図書館を直営で、現状のまま維持するのが難しい」とする現実が見えていました。だからこそ、「**本館再整備**」をするかわりの「**地域図書館の廃止**」だったのです。もちろん、市民とともに「図書館本館再整備の基本構想」を議論してきたことは確かです。基本構想の内容は一定評価できる内容であるとも思います。しかし、私たちが忘れてはならないことは、「**本館再整備**」の前提ではないでしょうか？

議会では「本館再整備」をするかわりに、図書館運営について、市民運営も一つの選択肢に入れた民間に任せていく提案の声がありますが、市長は、「あくまでも図書館運営は直営方式の堅持」と方針を掲げ

ています。しかし、「**現状（本館、拠点館2館、地域館4館）を維持することは、人的物的、そして財政的な面からも難しい。**」としていたあの方針が転換できるだけの好材料は見つかったのでしょうか？はっきりとした方向は示されていません。

「本館再整備」を行い、維持管理についても直営を前提とすることが可能だとするならば、**これから、ますます厳しくなる財政状況の中で、図書館政策以外の「何」を見直すのか明らか**にすることも必要でしょう。悲観的なことを並べたて、「夢」がないと言われそうですが、現実を直視すべきです。

### ■ 将来への不安を減らす。子どもたちの未来に想いを馳せながら...

これからの図書館をどう展望するのでしょうか？既に多摩市は、京王線沿線7市との連携により、私たちは手続きをすれば、

**ひとつこと！** 岩永ひさかへの問合せ・ご意見をお寄せください！

FAX: 042-371-0763

Eメール: hisaka\_box@yahoo.co.jp

▼このままFAXを送られる方は、お名前、ご住所、連絡先もご記入いただければ幸いです。

お名前

お電話番号

ご住所

